



もくじ

1. 夏の森林教室～森がくれる水の恵み～
2. 第5回活動～歩道修理と除草～のご案内
3. 第3回活動～苗畑除草～の報告

夏の森林教室～森がくれる水の恵み～

7月17日(土)に、千葉演習林公開講座「夏の森林教室～森がくれる水の恵み～」が開催されました。新聞・房総ファミリア・ホームページ等でご案内したところ、定員(当初60名)を大幅に上回る計123名の方から応募があり、最終的に83名の方に参加していただきました。その時の様子をお伝えします。

猪ノ川林道散策

春・秋に一般公開も行っている猪ノ川林道は、自然豊かな渓谷沿いの道なので、歩きながら森と水の関わりや恵みを知るには最適の場所でもあります。大人同士のグループよりも子どもがいる家族で来られたグループが多かったので、ときには手作りの絵本を使って、森の土がスポンジのように水を貯え、ゆっくりとろ過してきれいな水を少しずつ流す「緑のダム」としての仕組みを理解してもらいました。

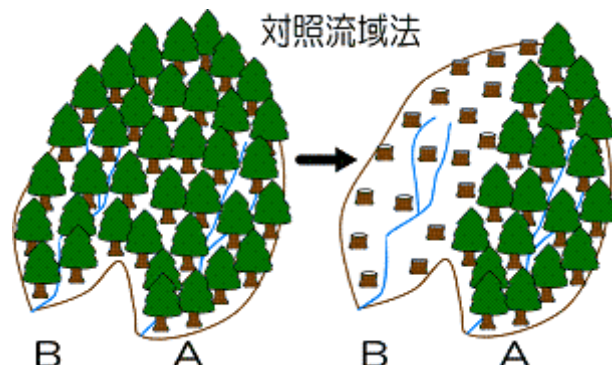
以下のように、森と水と人との関わりが目で見て納得できるスポットがたくさんあります。

「川回し」・・・昔の人が川のためのトンネルを掘って流れを変えたものです。房総の地質は軟らかい砂岩質なので、このように穴を掘ることが可能です。



「洗濯板の川底」・・・昔は海の底だった地層が斜めに隆起して、川の流れが層を削って、洗濯板のようにデコボコになった川底です。

「袋山沢水文試験地」・・・同じくらいの広さで、同じ年齢のスギが生えた2つの森それぞれに川が流れており、片方の森だけ伐採すると、川の水の量や質がどのように変わるかを調べている、スケールの大きな試験地です。「対照流域法」と呼ばれる研究方法です。



「草川原用水路」・・・山の向こうにある田んぼを潤すために、昔の人が長い穴を掘って作

ったという用水の入口が見られます。

水の流れ実験

やはり体験するのが一番分かりやすい！ 底に穴を開けたペットボトルに森の土、畑の土、川砂をそれぞれ入れ、いっせいに泥水を流し入れたとき、ペットボトルの底の穴から水が出てくるのはどの順番でしょうか？ 答えは、川砂、森の土、畑の土の順です。実は森の土は畑の土よりも水を保ちません。しかし、畑の土は急に水を吸うことが出来ず上に水の層が出来てしまいました。



もし山の斜面が畑のように

裸だと、雨が降ったときに土を流してしまい困ります。また泥水は、森の土と畑の土はろ過されて、始めよりもきれいになっていました。

土で2つの山を作り、片方に落ち葉を乗せて森とし、もう一方は木がない山としてじょうろで雨を降らしてやると、落ち葉がある山は土が流れにくいことが分かる実験もしました。



左から畑の土、森の土、川砂

お昼のオプションプログラム

恒例のぶり縄による木登り、ノコギリを使っての丸太切り、ロープワーク、竹馬を体験して盛り上がり、相ノ沢スギ栽培品種展示林の見学ツアーもあり時間が足りないくらいでした。



川のプログラム

これを一番楽しみにしていた参加者も多かったのでは？ 冷たい川の水に足を浸しながら、(滑らないようにアクアシューズなど水に濡れても良い靴で入りました) 竹の水鉄砲、ササ舟、ササ笛、手網などを利用して川の生き物観察、釣りなどを楽しみました。ハヤやアメンボ、ヤゴ、サワガニなどを観察することができました。



閉会式

班ごとに集まり、感想をお互いに発表しました。森の涼しさや水の恵みを体感し、大変楽しんでいただけたようです。最後に職員の力作・記念品のドングリトト口をお渡ししました。

千葉演習林ボランティア第5回活動のご案内

- 日 時** 平成 16 年 9 月 16 日 (木) ~ 17 日 (金)
- 集 合** 清澄作業所 16 日 9:40
- 解 散** 清澄作業所 17 日 16:00 頃
- 内 容** 16 日 歩道修理
5 名くらいのグループで、クワなどを持って歩道を歩きながら、壊れているところ、歩きにくいところを直します。
17 日 郷台または札郷苗畑の除草
(天候により内容が変更する場合があります。)
- 人 数** 9 名 原則として先着順
(前回参加していない方を優先する場合があります)
- 持 ち 物** 活動要項をご覧ください。他にゴム手袋、マイカップ。
帽子・水筒・タオルなどの暑さ対策を忘れずに。
17 日の飲み物はこちらでご用意しますが、16 日はありません。
- 宿泊場所** 清澄学生宿舎
- 宿 泊 費** 2,240 円 (1 日目の夕食・2 日目の朝・昼食、施設使用料)
- 雨 天 時** 看板作り、研修などを行います。
- 受付期間** 8 月 16 日 (月) ~ 9 月 2 日 (木)
- 申込方法** 電話、FAX、E-mail のいずれか

申込、お問い合わせ先

東京大学千葉演習林天津事務所
企画調整係 村川、相川
TEL 0470 - 94 - 0621 FAX 0470 - 94 - 2321
E-mail chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp

宿泊を基本としますが、日帰りでの活動を希望される方はご相談下さい。
17 日の場合、集合は 9:00 になります。

前泊を希望される方がありましたらご相談下さい。

追加募集のお知らせ

8/26 ~ 27 の第 4 回活動 ~ 歩道修理 (歩道刈払いから変更しました) と苗畑除草 ~ は現在 5 名の空きがあります。来られる方は 8/12 頃までにご連絡下さい。

千葉演習林ボランティア第3回活動の報告

7月25日(日)に第3回活動“苗畑除草”が行われました。
ボランティア参加者は4名、職員は5名です。

清澄作業所に集合し、1台の車に乗り合わせて郷台作業所へ移動しました。途中ニホンジカの子供と顔を合わせ、写真をパチリ。

郷台作業所に着いて自己紹介をした後、初参加の2名の方はまず郷台作業所主任から苗畑の説明を受けました。残る2名と職員



始めはこんなに雑草が！

比較的過ごしやすい日だったので、無理は禁物です。最も暑い午後1時から2時の間は、猪ノ川の川原に行って、手網や釣りで川の生き物を採集しながら涼みました。釣りにすっぴりはまってしまった方も…。写真のとおり、水槽に入れすぎて、過密状態です。もちろん、最後には自然に帰しました。

2時から除草に戻りましたが、時間を少々オーバーしてもう少しだけ、とがんばる人もおり、ひととおり予定の場所を終わらせることができました。



は、前回と同じ畑に入り、先に除草開始。6月の時

は小さい草ばかりだったのに、今回は日照りと暑さが手伝ってかのびのびと生えており、やりがいは充分でした。近頃は酷暑が続いており暑さが心配されたのですが、その日に限って風が気持ちよくて過ごしやすく、ほっとしました。休憩の時には甘い鴨川産スイカを食べて喉の渴きを癒しました。



千葉演習林ボランティア通信 No.3 2004/08/09 発行

東京大学千葉演習林

〒299-5503 千葉県安房郡天津小湊町天津 770

TEL 0470 - 94 - 0621 FAX 0470 - 94 - 2321 E-mail chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp

ホームページ <http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/>

現在の千葉演習林ボランティアへの登録人数は27名です。千葉演習林ボランティアに参加するには登録が必要です。申込方法はホームページをご覧になるか、担当までお問い合わせ下さい。